

政策 04 安全で安心なまちづくり

施策 02 消防・救急体制の充実

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿  
消防・救急活動が迅速に行われ、市民の生命や財産が守られています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	人口1万人当たりの火災発生件数(出火率) (件) 【予防課】	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対基準値
		2.3	2.4	1.8	2	☀️ (向上)
評価	(状況) 火災件数は15件で、人口1万人あたりの火災件数(出火率)は1.8件となり、前年実績より0.6ポイント上回る結果となった。 (原因) 放火やこんろを起因とした火災件数が減少したことに因るものである。					対前年度 ☀️ (向上)
		目標達成度 🏠 (達成)				

指標	心肺機能停止患者の生存率 (%) 【消防署】	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対基準値
		8.1	10.3	8.0	-	☔️ (低下)
評価	(状況) 前年の心肺機能停止患者搬送件数75件に対する1ヶ月後の生存件数は6件で、心肺機能停止患者の生存率は8.0ポイントとなり、前年実績値より2.3ポイント低下した。 (原因) 患者の容態、現場までの距離及び現場の状況などに因るものである。					対前年度 ☔️ (低下)
		目標達成度 (---)				

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 火災予防体制の充実

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	消火器を使うことのできる市民の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【予防課】	41.3	-	40.2	55	☂ (低下)
評価	(状況) 前回アンケート(令和元年)から2ポイント減少した。 (原因) コロナ禍において対面での啓発や訓練等が実施できていないことが要因と推測される。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						(---)

## 基本事業01 火災予防体制の充実

指標	防火対象物の立入検査後の改善率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【予防課】	73.0	73.0	90.5	65	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度の実績に比べ、現状値が17.5ポイント増加した。 (原因) 2011年以前の消火器が型式失効するに伴い、改善指導を実施する時間を増加させたことによるものである。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

## 基本事業02 消防力の強化

指標	消防職員の充足率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【消防総務課】	92.2	100	95.8	100	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、4.2ポイント減少した。 (原因) 条例定数が90名から96名となり、分母が増加したことにより相対的に実績値が低下した。(R3年度消防職員数92名)。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						(---)

## 基本事業02 消防力の強化

指標	消防車の現場平均到着時間（分）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【消防署】	8.6	8.0	8.9	8.5	☂ (低下)
評価	(現状) 令和3年に119番通報により出動した火災件数は10件(事後聞知火災を除いた件数)となり、消防車の現場平均到着時間は前年の実績値に比べ0.9分延伸となった。 (原因) 時間延伸の要因は、昨年と比べ消防署から距離が遠い場所での火災発生割合が増加したためである。 事後聞知火災とは通報時鎮火されていた火災のことをいう。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						(---)

**基本事業02 消防力の強化**

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	水利基準達成率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対基準値
	【消防署】	91.1	92.8	92.8	92	☀️ (向上)
評価	(現状)前年度の実績と横ばいの数値となった。 (原因)分母となる整備対象区域内の設置基数減少が要因であるが、消防活動上必要な消火栓については継続的に設置できている。					対前年度
						☁️ (横ばい)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

**基本事業02 消防力の強化**

指標	消防団員の充足率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対基準値
	【消防総務課】	96.1	96.8	97.7	100	☀️ (向上)
評価	(現状)前年度の実績に比べ、実績値が0.9ポイント増加した。 (原因)消防団員加入促進活動により、前年度と比べ1名増加し、定員129名に対し126名となった。					対前年度
						☀️ (向上)
						目 標 達成度
						(---)

**基本事業03 救急・救助体制の充実**

指標	救急車の現場平均到着時間（分）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対基準値
	【消防署】	6.8	6.8	6.9	6.8	☔️ (低下)
評価	(現状)前年の実績値は6.9分となり0.1分延伸する結果となった。 (原因)感染防止対策の徹底が求められるため、出動準備等に時間がかかる状況であったが効率的な感染防止衣の着装により延伸時間を最小限にとどめた。					対前年度
						☔️ (低下)
						目 標 達成度
						(---)

**基本事業03 救急・救助体制の充実**

指標	救急救命士の救急車同乗率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対基準値
	【消防署】	99.5	99.9	99.9	100	☀️ (向上)
評価	(現状)前年の実績値と横ばいの数値となった。 (原因)救急救命士充足率向上に向けた職員の養成が計画的に実施されていることに因るものである。					対前年度
						☁️ (横ばい)
						目 標 達成度
						(---)

**基本事業03 救急・救助体制の充実**

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	現場に居合わせた救命講習受講者による心肺蘇生実施率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【消防署】	27.8	39.7	35.3	20	☀ (向上)
評 価	(現状)前年の実績値に比べ、4.4ポイント低下した。 (原因)偶発的な状況に左右されるため、年により大きく数値 が変動することに因るものである。	(%) 				対 前年度
						☔ (低下)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)